

平成29年度 鎌ヶ谷市子ども・子育て会議 会議録

1 日時 平成30年3月28日（水） 14時00分～15時00分

2 場所 鎌ヶ谷市役所本庁舎6階 第1・第2委員会室

3 出席委員

山本幸子委員、加郷由里子委員、今市由美子委員、松村幸江委員、渡部郷勝委員、高橋良子委員、石崎美代子委員、石橋章子委員、高畑絵美委員、野本里奈委員

4 事務局

菅井健康福祉部次長（健康増進課長）、林こども支援課長、押切幼児保育課長、高橋こども総合相談室長、佐藤こども発達センター主幹、本間健康増進課主幹、宗川子育て支援センター所長、今井こども支援課課長補佐（こども支援係長）、木村こども支援課副主幹（給付係長）、荒川幼児保育課課長補佐（施設整備係長）、酒井幼児保育支援係長、能登谷主任主事（こども支援課）、二三四主事（こども支援課）、市川主事補（こども総合相談室）

5 記録 二三四

6 傍聴者 0人

7 議題

(1) 鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画中間見直しについて【諮問事項】

8 配布資料

- (1) 諮問書
- (2) 次第
- (3) 鎌ヶ谷市子ども・子育て会議委員名簿
- (4) 鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画中間見直し（案）

9 会議内容

≪議題≫

(1) 鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画中間見直しについて【諮問事項】

- ① 事務局が配布資料（４）に基づいて説明
- ② 質疑応答

委員 放課後児童健全育成事業について、現在市内に設置されている放課後児童クラブの半分以上が運営委託により実施されているとの説明があったが、こちらの具体的な内訳を伺います。

事務局 市内小学校9校、放課後児童クラブ15施設のうち、現在運営委託を実施しているのは、鎌ヶ谷小学校・中部小学校・初富小学校・五本松小学校の計4校9施設となります。また、平成30年4月には東部小学校が新たに運営委託となり、計5校10施設となります。

委員 運営委託というのは、民間業者による運営となっているのか、伺います。

事務局 運営委託先でございますが、民間業者となっており、選考につきましては、プロポーザル形式で決定しております。

なお、入会申請の受付・決定などの事務業務のほか、保護者負担金の徴収業務、運営業務のチェック、施設の環境整備を図るための改修などは、引き続き市で行い、その他の支援員の確保、児童の保育などの業務を委託しております。

委員 子育て短期支援事業について、子育てタクシー（民間事業）の活用に取り組むとの記載があるが、子育てタクシーを利用したくても予約がとれず、ほとんど利用することができないのが現状である。

計画に記載するのであれば、子育て世代の実際の活用状況を把握するほか、子育て世代が活用しやすくなる実施運営について実施事業者と検討する、実施事業者を増やす等の検討を行う必要があるのではないか。

事務局 今後、活用状況の把握等について検討して参ります。

委員 子育て短期事業を利用可能な事業所が市内に無いため、近隣市（松戸市又は八千代市）の施設まで子を送迎する必要があり、利用者の負担となっている。送迎について、ファミリー・サポート・センターを活用する等の方法はとれないか。

事務局 今後、検討して参ります。

委員 地域子育て支援拠点事業（つどいの広場事業）について、鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画のアンケート調査では、回答者全体の7割が「利用したことがない」との回答であるが、平成27年度・平成28年度の利用実績人数を見ると、多くの市民が利用しているように見える。この乖離の理由はなにか。

事務局 アンケート調査を実施したのが平成25年度であり、当該年度には、つどいの広場事業は中央児童センター・おおぞら保育園・まるやま保育園の3か所しか実施がありませんでした。その後、平成26年度の途中から、市内児童センター5館で実施を開始したため、アンケート当初よりも参加者が増加したものと考えます。

委員 現状地域子育て支援拠点事業は、平日しか開催されていないことから、平日仕事をしている保護者は利用できず、参加できる保護者が限られているように思う。今後、事業の開催日の変更や土日での開催など、参加者の枠組みを広くする取り組みを行う予定はないのか、伺います。

事務局 拠点事業の目的のひとつとして、幼稚園や保育園等に通っておらず、昼間に子と保護者のみで家庭にいることで他者と触れ合う機会の確保が難しい親子の居場所の確保がございます。このことから、現在、つどいの広場や年齢別サロンを土日に実施する予定はありませんが、いただいたご意見をふまえて、今後検討して参ります。

委員 病児保育・病後児保育について、事業計画のアンケート調査では実施を希望する声が多いにも関わらず、実績値をみると利用者が伸びていないのが現状である。利用実績が伸びない理由について、市の考えを伺います。

事務局 市としては、事業計画のアンケート調査の回答から、病児保育や病後児保育を利用する前にご家庭内で解決されているご家庭が多いことも、利用実績が伸びていない理由のひとつであると考えております。また、病児保育は平成28年度に白井聖仁会病院で実施が開始されたばかりであり、十分な周知が行えていない現状もあるため、今後も事業の周知に取り組んで参ります。

委員 病児保育の利用実績が伸びない理由のひとつとして、利用の手続について、事前登録が必要なこと、実施病院での受診などの手続が大変であることが考えられます。今後利用者を増やすためには、実際に利用した保護者の意見を伺い、より利用しやすい環境について検討する必要があると考え

るが、市の考えを伺います。

事務局 事前登録の手続等については、医療機関の状況により、当日の申請であっても登録を受け付けるなどの対応をしていただいております。実施病院での受診については、児童の病状を確認し、安全にお預りするために行っているものであり、省略については医療機関との協議が必要となりますが、実際に利用された方の声を伺うなど、できる限り改善に努めて参ります。

委員 利用者が利用しやすい環境となるよう、協議をお願いします。

③ 決議結果 承認（全員一致）

（２） その他

事務局より、平成30年度の子ども・子育て会議の概要及び開催予定時期について説明

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証明するため、次に署名する。

平成30年4月19日

氏名 松村 幸江 _____

氏名 今市 由美子 _____